

名古屋市政お役立ち情報

進学や就職等を控える子どもを応援

インフルエンザ予防接種費用の助成開始

- 対象** 令和5年度中に12歳、15歳、18歳を迎える方
- 接種期間** 10月15日(日)～令和6年1月31日(水)
- 実施方法** 9月下旬に対象者にクーポン券を送付(無料)



対象年齢拡充で、何歳でもOKに!

自転車乗車用ヘルメットの購入費補助

- 対象** 名古屋市内在住の方(全年齢)
- 申請期間** 令和6年2月15日(木)まで
- 補助額** ヘルメット1個の購入額の2分の1(上限2,000円、10円未満切り捨て)
※対象者(使用者)1人につき1個まで



<https://www.city.nagoya.jp/sportsshimin/page/0000162565.html>

詳細はこちらから

認知症の早期診断・支援の推進

「もの忘れ検診」後の精密検査が無料に

- 対象** 市が実施する「もの忘れ検診」を受診後、要精密検査と判定され、精密検査を受診した方
- 開始時期** 令和5年10月(予定)
※令和5年4月1日～9月30日も助成対象(領収証必要)
- 助成方法** 償還払い(支払い後、市への申請により払い戻しを受ける)



<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000122737.html>

詳細はこちらから

室内カメラ設置費用等の補助を検討

「保育の見える化」に取り組む保育所を支援

- 対象** 市内すべての保育所
- 補助基準額** 102.9万円(事業者負担なし)
※補助対象経費は、室内カメラの設置や内装の改修、設備の更新等、保育環境の向上に資するもの。

ひび美咲

経済水道委員会 / 防災・エネルギー対策特別委員会 委員長



QRコードを読み込んでフォロー&友達追加をお願いします。



Facebook

Instagram

公式LINE

名古屋民主市会議員団 市政報告書 2023年夏号

ひび美咲プロフィール

小学1年生の息子の子育てと仕事に日々奮闘中。
モットーは「困難に直面した時や、つらい時こそ笑顔」。

4月の統一地方選挙では多くの皆様に温かいご支援を賜り、3期目をスタートすることができました。託していただいた一票一票を胸に、お約束をした公約実現を目指し、一直線に前へ進めてまいります。

さて、名古屋市政では今期、観光文化交流局、経済局、上下水道局を所管する委員会への配属となりました。コロナ禍で落ち込んだ名古屋市の経済、観光をしっかり盛り上げるべく、皆様が日常で感じる疑問や課題を市政の場で議論し、政策というカタチにしてまいります。引き続きご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

6月定例会トピックス

「こどもファスト・トラック」導入へ

市は、公共施設などで妊婦や子連れの人を優先的に案内する「こどもファスト・トラック」導入の方針を示しました。子どもや子育て世帯を社会全体で応援するための「ベビーファースト宣言」の制定に向けた取り組みの一環です。

チャットGPTを業務に活用

市役所業務への対話型人工知能(AI)導入を見据えて、通常業務に生成AI「チャットGPT」を取り入れる実証実験を7月に実施。業務への影響や効果を見極め、前向きに導入を検討していきます。

熱中症危険度を学校に通知

市は6月から1週間先までの予測データを市内の公立幼稚園、小中高校など415校に提供する取り組みを始めました。運動会など学校行事の実施の可否を判断する目安にしようのが狙いで、全国初の試みです。

ひび美咲事務所 平日 午前10時～午後5時まで

〒465-0025 名古屋市名東区上社1-402 柴昭ビル1E

TEL: 052-777-3193 FAX: 052-777-7330

Email hibikenoffice@hibiken.com

<https://www.facebook.com/hibi.misaki/>

<https://www.instagram.com/misaki.hibi/>

議会だより6月定例会

市会議員の仕事は、日々の生活で感じる‘困りごと’を解決する事です。そのための政策実現に向けて、税金の使い道の優先順位を決めていきます。

ひび美咲が活動の中で皆さまからいただいたご相談を核に、他都市を調査し、名古屋市に導入すべきだと立案した3つの政策を、6月定例会において議会質問しました。



不登校児童生徒への支援について



名古屋市の不登校児童生徒数は、10年前に比べて2.1倍と年々増加の一途である（令和4年度は4953人で過去最多）。不登校は環境によりどの児童生徒にも起こりうるもので、子どもの状況に応じて、休養を優先すべき段階から登校支援をする段階まで、必要とする支援も異なってくる。

ひび美咲

不登校の未然防止や支援に名古屋市としてどのように取り組んでいくのか、教育長の認識をお聞きしたい。また、岐阜市では令和3年4月に県内初の公立不登校特例校として岐阜市立草潤中学校を設置したほか、全国で私立10校、公立14校の計24校が設置されている。子どもの視点に立って将来を見据えれば、支援策の選択肢は多い方がいい。不登校児童生徒への支援策として、不登校特例校も含めた検討をしていただくことを強く要望する。

教育長

令和4年3月に策定した「不登校未然防止及び不登校児童生徒支援の方策」に基づき、校内の教室以外の居場所づくりや、令和6年4月の開設に向けて子ども適応相談センターのサテライト整備、民間オンライン学習プログラムを活用した学習支援の導入など、支援の拡充に取り組んでいる。不登校の未然防止としては、ナゴヤ・スクール・イノベーション事業を通して子ども主体の授業の改善にも取り組んでいる。

今後の支援策についても、不登校特例校に係る調査も含めて幅広く検討していきたい。

次期「健康なごやプラン21」の取り組みについて

ひび美咲

- 1.国が示す「健康日本21（第三次）」の新たな視点のうち、‘働く世代からの健康づくり’の一環である「健康経営の推進」を、どのように「健康なごやプラン21」に取り入れるのか。
- 2.「他計画や施策との連携」のアイデアとして、例えば観光文化交流局が取り組むウェルネスツーリズムで紹介している「旅先での史跡観光+ヨガ」など、リフレッシュを目的とした‘心と体を整えるプラン’を参考にしながら、市民が楽しみながら健康づくりに取り組めるような連携も考えるべきではないか。



健康福祉局長

次期計画では、例えば中小企業を対象とした国の健康経営優良法人の認定支援や、健康経営セミナーの開催など、企業の健康経営を具体的に支援する仕組みを検討していく。また、健康づくりのきっかけとなる各局の取り組みとの連携についても検討していく。

名古屋交通計画2030における日常生活で移動が不便な市民への対応について

ひび美咲

高齢者や障がいのある方から、買い物支援についての相談を多くいただいている。特に暑い季節は熱中症のリスクもあり、また買い物に出ても重い荷物を持つての帰り道が負担だと聞く。「2030年を目標に」とのことだが、現状困っている人はすでに70代80代が多い状況であり、早急な対応が望まれる。

先般の質疑で「まずは公共交通空白地での実証実験」とのことだったが、AIオンデマンド等の先進技術をより効率的に利用することで本市の交通利便性は格段と上がる。一日も早く実証実験を行っていただき、「移動しやすい名古屋市」にして欲しいと強く要望する。



住宅都市局長

ご指摘の通り、利用者のニーズに応じた最適な乗降場所やルートを設定できるAIオンデマンド交通などの先進技術を活用することは大変有効であると考えている。他都市事例を参考にしながら、先進技術を活用した新たな移動手段を導入するための仕組みづくりを進めていく。